

目次

第67回国立病院総合医学会レポート	1・2
看護部だより「看護の専門性を高める2つの研修会」	3
アラカルト「どんなときに神経内科を受診しますか」	
患者数	4
秋の健康フェスタ	
「北新地区福祉と健康まつり」	
「朝日通りえびす講祭り」	
乳がん検診のお知らせ	5
糖尿病教室	
医療安全管理室より	6
外来医師担当表	7

発行：独立行政法人 甲府病院 広報委員会
 国立病院機構
 発行責任者：長沼博文
 住所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町 11-35
 電話：055-253-6131
 ファックス：055-251-5597
 ホームページ：<http://www.kofu-hospital.jp/>
 Eメール：kofu@kofu.hosp.go.jp



てんじん文化祭に国文祭マスコット「カルチャくん」がやってきました！

10月8日、甲府病院重心病棟で「てんじん文化祭」が行われました。

例年この季節には「運動会」が行われてきましたが、今年からより多くの患者さんが参加できる「文化祭」としました。

当日は患者さんの手による多くの作品が展示され、訪れる人の目を楽しませていました。

また、「富士の国やまなし国文祭」の応援事業でもあったため、当日は国文祭マスコット「カルチャくん」も来院し、患者さんとのふれあいを楽しんでいました。



独立行政法人 国立病院機構 **甲府病院** の理念
 National Hospital Organization Kofu National Hospital

理念

私たちは、良質な医療の提供を通して、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針

- 丁寧な説明に努めます
- 自己研鑽に励みます
- 職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします

病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

第67回 国立病院総合医学会レポート

11月8日・9日の2日間、金沢市において「第67回国立病院総合医学会」が行われました。全国143施設から、8千名以上の参加者が集まる大きな学会です。当院からも多数の職員が演題発表を行いました。今回は学会で発表し、ベストポスター賞を受賞した職員から報告させていただきます。

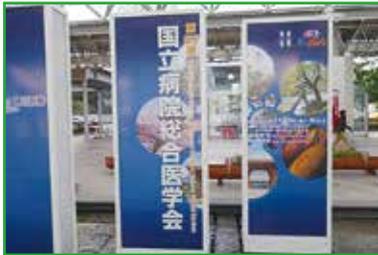
膝関節鏡視下手術の合併症

外科系診療部長 萩野 哲男

2013年11月8～9日、石川県金沢市にて開催された第67回国立病院総合医学会に参加してまいりました。

第1日目のポスターセッション「骨・運動器・リウマチ 関節疾患」において『膝関節鏡視下手術の合併症』と題した演題を発表しベストポスター賞を拝受しました。

スポーツ・膝疾患治療センター開設当初から7年間に行った2623件の膝関節鏡（内視鏡）手術の手術中や術後に発生した合併症（併発症）についての報告です。合併症というと医療ミスかと思われる方もいますが、そうではなく、



金沢駅に設置された国立病院総合医学会の看板

の発生率は0.27%

と低く、他の報告例に比べて低いものであり、重症なものはありませんでした。今後も、合併症の発生ゼロを目指し、安心して安全な手術が行えるよう努力してまいります。

今回このような賞をいただきましたが、いつも協力いただいているスタッフの皆様に深謝いたします。



ポスターの前に立つ萩野外科系診療部長

当院の膝靭帯再建術後リハビリテーションプロトコル紹介

理学療法士 嶋根 香代子

リハビリテーション科では、重心部門で骨密度・骨折予防に関連する研究を2演題、私は運動器部門で「当院独自の靭帯再建術後におけるリハビリプログラム」を発表し、ベストポスター賞を頂きました。

当科では、重心部門とスポーツ部門という特殊性のあるリハビリを積極的に行い、地域に貢献できるよう努めてきました。

今回の発表は、これまで行ってきたリハビリの治療に高い評価を得られたことを誇らしく感じられるものとなりました。また、他職種の演題を聴講することで明日のリハビリに反映していける知識を得ることが出来た実りある学会でした。

発表に際しては、担当患者様の協力はもちろん、カルテ情報の提供で医師事務作業補助者の協力を頂きました。さらに院長や整形外科医師・当科士長およびスタッフから沢山のアドバイスを、会場では療育士や事務の方々から心強い応援を頂きました。ベストポスター賞は、当院スタッフのサポートあってのものだと

実感しています。

今後も研究を継続し、より良い治療を患者様に提供していける様に不惜身命の心構えで励んでいきたいと思っております。



ベストポスター賞の記念品を手にする嶋根理学療法士

第67回 国立病院総合医学会 演題発表一覧

職名	氏名	演題
⑤ 外科系診療部長	萩野哲男	膝関節鏡視下手術の合併症
整形外科医長	落合聡司	当センターにおける膝関節鏡視下手術の治療戦略
薬剤師	寺田芳弘	重症心身障害者における処方箋の簡素化への取り組み
診療放射線技師長	藤本幸弘	胸部X線撮影におけるFPD撮影装置Radnextαの問題点と対策
診療放射線技師	田中敏弘	自作胸部側面用アームレスト（握り棒）の使用経験
臨床検査技師	中根丈裕	山梨県輸血療法委員会I&A委員会の点検・査察を受けて
管理栄養士	青野千里	多職種で取り組む患者誤認予防活動
運動療法主任	浅見誠	重症心身障害者における骨折リスクの予測に用いる骨密度と簡易的骨強度評価の有効性の検討
⑤ 理学療法士	嶋根香代子	当院の膝靭帯再建術後リハビリテーションプロトコル紹介
作業療法士	三橋里子	重症心身障害者の運動機能が骨密度および骨代謝マーカーに与える影響の検討
⑤ 外来副看護師長	市川美生	インスリン自己注射実施時の問題点の明確化を試みて —実態調査の結果を踏まえて—
2病棟看護師	島田梓	当院NICUにおける光環境の現状把握と新基準の作成
3病棟看護師	筒井理沙	前十字靭帯再建術を受けた患者の退院指導 —退院後の日常生活における疑問・アンケート調査を試みて—
6病棟看護師	井出麻葵	変形の強い重症心身障害児（者）呼吸の安楽性の検証 —腹臥位を導入して—
8病棟看護師	加藤梓	オムツ装着者の皮膚トラブル予防に対する援助 —緑茶石鹸の陰部洗浄後にオリーブ油塗布による効果—
療育指導室長	山田宗伸	重症心身障害児（者）に関わる相談支援専門員が抱える課題と入所施設の役割
事務部長	三井光義	（ランチョンセミナー）地域医療連携システムの進化と有用性

（順不同・会場にて発表した職員のみ掲載）⑤…ベストポスター賞受賞

インスリンの自己注射実施時の問題点の明確化を試みて —実態調査の結果を踏まえて—

外来副看護師長・慢性疾患看護専門看護師 市川 美生

11月9日（土）快晴。前夜に美味しい海の幸を堪能したとはいえ、長旅の疲れも癒えぬままポスターセッションの準備のために朝8時頃ホテルを後にしました。「金沢でこの時季に晴れることは珍しいですよ」と言うタクシードライバーの言葉を幸先よいことと解釈し気持ちよく発表に臨むこととしました。

午前9時からの演題群での発表予定でしたが、看護部長、事務部長をはじめ多くの当院の職員も顔を見せてくれました。発表では、大きな声で、本当に伝えたいところと、質問してもらいたいところを意識しながらの発表を心がけました。

私は、糖尿病療養指導チームでの活動の一環として外来患者さんのインスリン注射手技の確認に取り組んだ結果を発表しました。その取り組みが、糖尿病と共に生活する患者さん自身を知るきっかけともなりました。発表後の座長の評価では、チームとしての取り組みや、患者個々へのケアを認めてもらうコメントを頂

きました。

協力いただいた患者さんに感謝するとともに、今後もより良い看護を提供できるように日々精進してまいります。



発表を行う市川外来副看護師長

看護部だより

「看護の専門性を高める2つの研修会」

周産期医療センター副看護師長・母性看護専門看護師 八巻 和子

小児、周産期（妊娠・出産前後・育児）の対象の方へ看護を提供するには、専門的な知識や技術を必要とします。より専門性の高い実践能力を身につけるため、看護部では「小児のプレパレーション」「周産期メンタルヘルス基礎講座」の2つの研修会を企画し、県内外の病医院より医師や多くの看護職の方々にご参加いただきました。

「プレパレーション」には準備をするという意味があります。子どもにとって入院や検査、処置を受けることはつらい体験です。しかし子どもは子どもなりにそれを乗り越える力を持っています。その子の理解力に合わせてこれから起こることを説明し不安や恐怖を最小限にする、心の準備をするなど医療を受ける環境を整えることで、その子と力を合わせて困難を乗り越える、そういった技術を「小児のプレパレーション」の研修では学びました。参加いただいた方より「子ども一人の人として接する姿勢、倫理的側面を改めて学んだ」「出来ていた部分、改善が必要なところがわかった」などのコメントが寄せられました。新たな知識を得るだけでなく、日頃の実践を振り返ることがで

きたようでした。

周産期は、精神面の健康（メンタルヘルス）に変調を来しやすい時期です。「周産期メンタルヘルス基礎講座」は、産後うつを始め、この時期に起こりやすい精神面の不調へのケアを提供するための知識、技術を系統的に習得することを目的とした全8回、現在も進行中のコースです。精神面の不調は、生活に反映されます。その生活に関わる看護だからこそ見える対象の方の不調を察知し、適切なケア、医療につなげて行きたいと考えています。



「周産期メンタルヘルス基礎講座」
北村メンタルヘルス研究所所長
精神科医 北村 俊則 先生



「小児のプレパレーション」
国立看護大学校 小児看護学教授
来生 奈巳子 先生

- ・小児のプレパレーション
- ・周産期メンタルヘルス基礎講座



アラカルト

「どんなときに神経内科を受診しますか」

神経内科医長 太田 恵美子

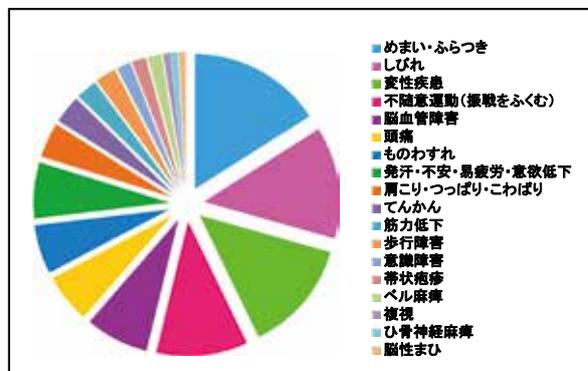
今年 4 月に当院に赴任し診療を開始してから 7 カ月が経ちました。手もとのノートによると延べ 343 人、実数 119 人が神経内科を受診されています。症状（一部病名）別にみますとグラフ（右）のようになります。

「めまい・ふらつき」が最も多く、原因としては立ち上がると血圧が下がる起立性低血圧や、脳の血管の動脈硬化による循環不全などでした。内耳性の激しいめまいでは緊急入院の上治療をおこないました。

次に多かったのはしびれを訴えての受診です。手や足、顔面、舌など、部位は様々で原因としては末梢神経障害が主体でした。その中には神経伝導速度検査で手根管症候群（手首部分で神経が圧迫される）と診断された 3 名が含まれ、整形外科に紹介して治療（手術を含む）をしていただきました。2 名はむずむず脚症候群の診断でした。むずむず脚症候群は夕方から夜にかけて足の不快感が強くなり、耐えがたくなるのが特徴です。

3 番目に多い「変性疾患」というのは神経細胞の働きが徐々に低下していく病気の一類です。その中ではパーキンソン病が最も多く、毎回の診療で症状に合わせた薬の調整をおこなっています。以前は当院で処方できるパーキンソン病の薬は限られていたのですが、大幅に改善してそのほとんどを処方できるようになりました。脊髄小脳変性症や多系統萎縮症、大脳皮質基底核変性症などの診療もしています。これらの病気は専門性が高く特定疾患の申請や今後予測される状態に対し早めに対応していく必要があります。これまで通っていた病院が遠方で通院困難となり、当院で神経内科診療が可能であると知って紹介され受診されるケースもありました。

手のふるえや筋肉のぴくつきといった不随意運動も全体の 1 割ほどを占めます。原因は本態性振戦や末梢神経障害、全身状態に関連するものであり、ストレスによると思われる方もいました。不安、疲れやすい、



神経内科受診者の症状別割合

意欲が出ないなどの症状で受診され、神経内科的問題がみられない場合は当院精神科に紹介し受診していただきました。脳梗塞、脳出血などの脳血管障害（急性期）では主として入院治療をおこないました。

当院では CT が迅速に行え MRI も当日中に可能な体制にあり、これらの疾患の診断に大きな助けとなっています。頭痛の方の約半数は片頭痛で、特効薬であるトリプタン製剤の処方などおこないました。てんかんは症状から疑い、脳波にて診断します。症状の出現具合を確認しながら薬の調整を行っています。突然顔の半分が動かなくなるベル麻痺の方も 2 人受診があり内服治療とリハビリ指導を行いました。

こうしてみると神経内科受診のきっかけとなる症状は様々であることに改めて気付かされます。調べていくうちに他の科の病気が原因だったと分かる場合もありますが、上に挙げた病気や症状でお悩みの方は、一度神経内科を受診してみたいはいかがでしょうか。一緒に考え、最善の方法を見つけていきたいと思っています。

神経内科 外来受診案内： 毎週水・金曜日

平成 25 年度一日平均患者数

入院

※ 11 月分及び年間累計は 10 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

種別	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
一般		96.4	84.3	92.3	105.6	93.0	103.6	103.9	104.0					97.9
重心		120.8	117.9	119.0	120.0	120.5	122.2	123.5	124.2					121.0
計		217.2	202.2	211.3	225.6	213.5	225.8	227.5	228.3					218.9

外来

※ 11 月分及び年間累計は 10 月末日現在（小数点以下第 2 位は四捨五入）

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	271.6	272.5	278.7	274.1	260.4	288.2	267.9	271.0					272.7

秋の健康フェスタ

「北新地区福祉と健康祭り」

10月13日（日）、北新小学校において、第18回北新地区福祉と健康祭りが開催されました。当日は、天候にも恵まれ、北新地区の住民の方が約200名と多数参加していただきました。

当院からは、萩野哲男外科系診療部長と浅野厚雄理学療法士が参加し講演等を行いました。

最初に萩野外科系診療部長から「寝たきりにならないために」という講演があり、骨粗鬆症とロコモティブシンドローム※（以下、ロコモ）について話しをしました。



講演を行う萩野外科系診療部長

次に、浅野理学療法士から、ロコモを防いで、寝たきりにならないためにということで、

ロコモのチェックとロコモ予防の運動を行いました。運動では、浅野理学療法士の指導で参加者は体を動かし、気持ち良い汗をかきました。

骨粗鬆症とロコモについての講演と予防の運動を行い、充実した講演となりました。

多数、参加していただき、ありがとうございました。



指導を行う浅野理学療法士

（庶務班長 田畑 薫）

※ロコモティブシンドローム

運動器症候群：運動器（筋肉、骨、関節、軟骨、椎間板）の障害のために移動能力が低下して、要介護になったり、要介護になる危険の高い状態

「朝日通りえびす講祭り」

11月23日（土）に開催されました、第79回えびす講祭りに今年も参加してまいりました。朝から天気にも恵まれ、絶好の祭り日和となりました。

今回は糖尿病療養指導チーム「てんじん」の活動を地域の皆様にご覧いただくために、てんじん号外を作成・配布することを始めとして、昨年度と同じく栄養相談のブースと、新たな試みとして味覚チェックのブースを設置しました。

多数の皆様に参加していただき、活気あふれる祭りとなりました。

（経営企画係長 窪田 満）



栄養相談ブース



味覚チェック

乳がん検診のお知らせ

『乳がん』は他人事ではありません

乳がんが「見つかる事」が怖い事なのではありません。「知らないまま」が怖いのです。20歳を過ぎれば誰でも乳がん年齢です。20歳代からでも乳がん検診を受けることができます。症状が何もなくても早めに検査を受けましょう。

<受付方法>

電話連絡または、外来受付カウンターで受付いたします。

毎週水曜日と木曜日の午後（1日2名）の予約制となっております。

<検査時間>

乳腺超音波検査は検査時間を指定させていただきます。

水曜日 15:20～16:00（2名）

木曜日 16:20～17:00（2名）

マンモグラフィーのオプションを付けた方の受付時間

水曜日 14:35 / 15:15 までに来院して受付

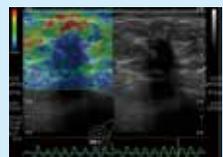
木曜日 15:35 / 16:15 までに来院して受付

<価格>

乳腺超音波検査 4,600円

マンモグラフィー 2,100円
（オプション）

※マンモグラフィー検査は乳腺超音波検査を受診される方にオプションで付けられます。



【超音波検査で見られる乳がん画像】

糖 尿 病 教 室

◎地域医療連携室・お問合せ先

連携室直通 電話 055-240-6223
FAX 055-240-6225



業務時間 平日 午前8:30～午後5:00

ナカザワ カワムラ スギモト
担当：中澤 河村 杉本

10月25日に「減塩」をテーマに
糖尿病教室お食事会を開催しました。



当日のお食事



血糖測定



味覚チェック



次回は「低コレステロール」
をテーマに2月28日(金)
開催を予定しています。
一緒に美味しく学びましょう。
ご参加をお待ちしています。



講義・会食風景

NHO甲府病院糖尿病
療養指導チーム「てんじん」



医療安全管理室より

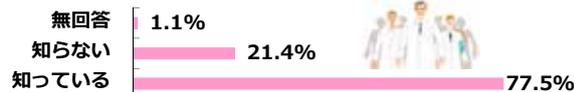


当院での患者誤認予防の取り組み - アンケート結果報告 -

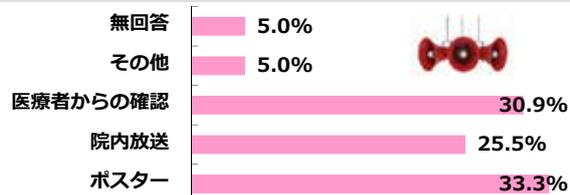


当院では昨年度より患者間違いによる医療事故を防ぐため患者さん本人にフルネームを名乗って頂く活動を実施しています。平成25年9月9日～13日の1週間、外来患者さんにご協力を頂き、アンケートを実施しましたので、その結果を報告致します。

Q. 診察時、患者さん本人からフルネームを名乗ってもらうことを知っていますか？



Q. 当院の患者誤認予防をどのような方法で知りましたか？



Q. 患者さんからフルネームを名乗って頂くことに対してどう思いますか？



アンケート結果より約80%の患者さんがフルネームを名乗ってもらうことを知っていると回答し、また約45%の患者さんが「とても安心した」「多少安心した」「当たり前だと思う」と回答されました。

アンケート結果を踏まえ、当院スタッフ一同、今後も患者誤認予防活動に取り組んでいきます。フルネームでの患者確認にご協力ください！

リスクマネジメント小委員会 患者誤認予防対策チーム



外来医師担当表

平成 25 年 12 月 1 日現在

…女性医師等

			月	火	水	木	金	
一階診察室	消化器内科	診察室	廣 瀬	村 松	田 中	村 松	稲 岡	
		診察室 10 (共用)					初診のみ 村 松	
	外科	診察室 1	鈴 木	浅 川		鈴 木	牧	
		診察室 2	浅 川		高橋(ひ)	(乳腺外来) 高橋(ひ)	鈴 木	
		化学療法 五階	診察室 1		高橋(ひ)	鈴 木		
			診察室 2			浅 川		
	内科	診察室 3	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	渡 邊	
		診察室 4	黒 澤	黒 澤	黒 澤		黒 澤	
		診察室 5	川 口	古 屋	古 屋	中 尾	太 田(-)	
	呼吸器内科	診察室 4 午前				樋 田		
		診察室 6 午後			細 萱			
	循環器内科	診察室 6	薬 袋	中 村(淳)		薬 袋	薬 袋	
	神経内科	診察室 7			太 田(恵)		太 田(恵)	
	脳神経外科	診察室 8	長 沼	長 沼	長 沼	長 沼	大学医師	
	皮膚科	診察室 9 (共用)		富 田				
整形外科	診察室 10 (共用)				整形外科			
整形外科 (スポーツ・膝疾患治療センター)	1	萩 野		装具外来	萩 野	萩 野		
	2		渡 邊	渡 邊	渡 邊			
	3	落 合	落 合		落 合			
	4	千 賀		千 賀		千 賀		
	5	装具外来						
検査室	内視鏡	午前(上部)	村 松		大学医師 辰巳	北 橋		
		午後(下部)	村 松		大学医師 渡辺			
	超音波	午前	腹部 検査科	腹部 検査科	心臓 薬袋		腹部 検査科	
		午後				心臓 薬袋		
小児科	1	内 田	内 田	加 賀	久 富	久 富		
	専門外来 1 (午後・予約のみ)	久富・勝又 (循環器・フォローアップ)	久富・大学医師 (フォローアップ・乳児健診)	神 経 加賀	予 防 接 種	フォローアップ 中村(幸) 代謝 内田		
	専門外来 2 (午後・予約のみ)	神 経 加賀	循環器 勝又			藤岡 (フォローアップ・乳児健診)		
	専門外来 3 (午後・予約のみ)	神 経 神谷	神 経 中村(幸)	神 経 石井	第 1・3 週 小野 (摂食)			
産婦人科	1	滝 澤	雨 宮	高 木(司)	雨 宮	滝 澤		
	2 (予約のみ)	雨 宮	高 木(司)	大 学 医 師	滝 澤	高 木(司)		
	3	妊健 助産外来			妊健 助産外来			
眼科		予約のみ 地 場	地 場	地 場		地 場		
泌尿器科(予約のみ)		奇数週 大学医師						
耳鼻咽喉科					矢 崎			

●受付時間 初診/午前8時30分～午前11時00分 再診/午前8時20分～午前11時00分(再診で予約を取られている方は予約時間まで)
(※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13:00～15:30です(診察13:00～16:00))

※右記のものについて
●小児科 専門外来
●乳児健診 毎週 火・金曜日
●毎月第4金曜日 糖尿病教室 黒澤医師
●予防接種(小児科) 毎週木曜日
●人間ドック 毎週 水・木曜日
●脳ドック 毎週 月・火曜日午後
●乳がん健診 毎週 水・木曜日

特殊外来ご案内

・「乳腺外来」については、毎週水・木曜日の午前中に高橋医師(女性)が診察します。検査についても女性技師が行っています。乳房にしこりなどの異常を感じたら、すぐに受診されることをお勧めします。

・「物忘れ外来」については、脳神経外科で行っています。ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。
★宛先 国立病院機構甲府病院 経営企画係 山田
e-mail:yamada-m@nhokoufu.hosp.go.jp

◇平成 25 年度 看護職員募集案内◇

助産師・看護師・看護助手の募集(パート)は随時行っています。

申し込み方法	*下記の電話番号に(土日休日以外)に直接ご連絡下さい。
連絡先	国立病院機構甲府病院 庶務係長 TEL:055-253-6131 FAX:055-251-5579

編集後記

◆今年も終わりですね。師走といえば、クリスマスや忘年会、仕事納めとイベントが盛りだくさんです。さらに年末年始は9連休がとれる方もいらっしゃる嬉しい暦になっています。

しかし、一年の疲れがどっとでる時期でもあります。飲み過ぎ食べ過ぎに注意し、お体をご自愛ください。

来年は午年です。皆様に幸運が駆け込んできますように。

(広報委員 H)